

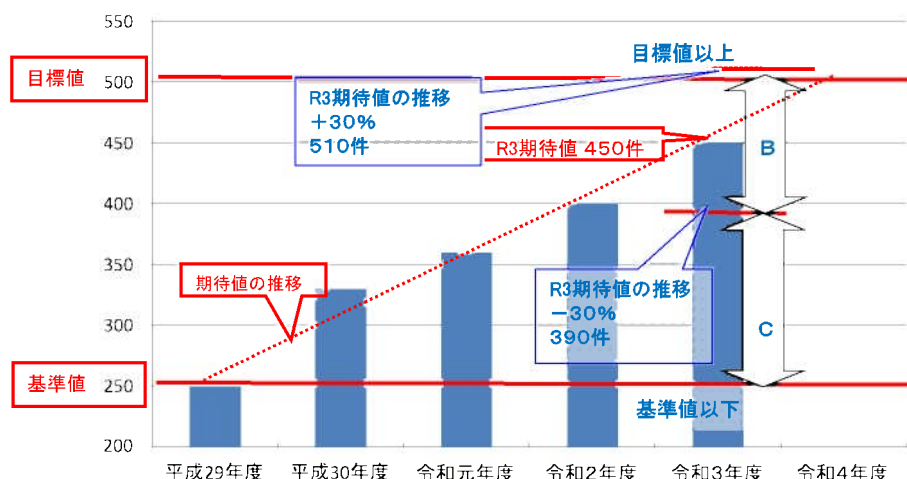
# 1-5 進捗状況の確認について

＜令和3年度の実績を基に示した例＞

例

指標名	数値
基準値	250件：ビジョン策定時の平成29年度の数値
現状値	450件：令和3年度の数値
期待値	450件：令和4年度の目標値500件に基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合の令和3年度の数値

＜例＞の説明図（単位：件）



→本例では、現状値が期待値の±30%の範囲内にあるため、「B評価」となる

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

7

## 2-1 県の担い手確保の取組

担い手確保策の推進

県交通基盤部では、建設業の将来にわたる担い手を確保するため、若年者に建設業の魅力伝える、「建設産業担い手確保・生産性向上支援事業」を実施しており、「静岡どぼくらぶ」という名称で、広く周知を図っている。



### ◆ 令和5年度実施計画

＜継続事業＞

- ・「静岡どぼくらぶ」若手交流会（現場見学、グループワーク等）
- ・「静岡どぼくらぶ講座」（出前講座、建設現場体感見学会）
- ・親子インフラツーリズム（清水港見学等）
- ・教員向け研修会
- ・新技術交流イベント

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

8

## 2-2 県の担い手確保の取組

### ◆ 令和4年度実施の様子

#### ＜出前講座＞

「静岡どぼくらぶ」講座

各学校へ出向き、建設の仕事伝えるキャリア教育、Virtual Shizuoka体験、建設従事者との座談会等を実施した。



静岡市立  
富士見小学校

掛川工業高校



#### ＜建設現場体感見学会＞

県内工事現場の見学を実施した。（バス代や保険料等の費用を県で負担）



浜松工業高校

静岡農業高校



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

9

## 2-3 県の担い手確保の取組

### 親子インフラツーリズム(夏)

対象：県内在住の小学生とその保護者

見学場所

- ・馬込川水門  
工事現場
- ・新東名高速  
道路浜北高架橋



### 親子インフラツーリズム(冬)

対象：県内在住の小学生とその保護者

見学場所

- ・富士川かりがね橋  
工事現場



### 教員向け研修会（令和4年8月実施）

対象：高校教員・中学教員

内容

- ・県内建設企業経営者の講話「建設産業への就職」
- ・県内建設企業若手技術者の講話「若手技術者の仕事」
- ・座談会



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

10